



ひまわり

第20号

2017年3月発行



松阪市男女共同参画
シンボルマーク



『子育て支援センター』って知ってる？

Welcome!

乳幼児の子どもと子どもを持つ親が交流を深める場です。気軽に遊びに行くことができ、同じような境遇の親子で交流することができます。子育てについての不安や悩みも相談することができます。子育てをしている家庭の支援活動を行う施設であり、保護者にとっては、育児に関する不安の相談に総合的に応じてくれる心強い施設です。松阪市在住で保育園・幼稚園に通ってみえないお子さんとその保護者が対象です。

げんきっこ



ふれんず



子育て支援だより

毎月の行事予定が
のってるよ。
親子で楽しめる
イベントがいっぱい！



「ゆずってください」
「もらってください」
情報交換ボードも
大活躍～！！！！

松阪市 子育て
応援サイト



育児を応援する行政サービスガイド『ママフレ』

子育て支援センターはもちろんのこと、松阪市の子育てに関する情報が盛りだくさん！
松阪市ホームページから左のバナーを探してクリックしてくださいね。

情報紙「ひまわり」では、子育て支援センター（げんきっこ・ふれんず）を利用されている方々に、松阪市での子育て事情について聞いてみました。



お母さん
子ども（1歳）
お母さん
子ども（1歳・3歳）

Q：子育て支援センターを利用する目的は何ですか？

A：他のお友達と遊べて、おもちゃもたくさんあるから。

Q：日頃、悩んでいることや困っていることはありますか？

A：近々、引っ越します。引っ越し先に、こういった公的な子育て支援センターがあるかどうか不安です。

Q：相談相手は身近にいますか？

A：両親、主人、妹、先輩などですね。

Q：子どもと出かけるとき、施設などで不便に思ったことはないですか？

A：子どもと一緒に入れるトイレが少なく、ついつい我慢してしまいます。子ども用の小さい便器のトイレも公共施設やスーパーなどたくさん設置してほしいですね。でも、子育て支援センターは未就園児の施設なので、兄弟で上の子を連れて来れないのが残念です。

Q：子育てで、楽しかったことはありますか？

A：同世代のお母さんたちとコミュニケーションが取れたこと。

Q：いつ頃から子育て支援センターを利用していますか？

A：初めは「ちょっと気分転換にこういうところに来たらいいよ」って保健師さんに紹介してもらって、子どもが5か月の時に一回来たことあるんですけど、長居することができなくて…通いだしたのは9か月頃、動けるようになってから。最近は結構長く過ごせるようになったので、出来るだけ毎日連れてきてあげたい。

Q：子育てで困っていることはありますか？

A：夜間の急病ですね。救急ダイヤルに電話することも結構ありますが、結局心配だったら救急車呼びしかありませんって言われたりします。健康センターの休日・夜間応急診療所も夜間は10時半までで、いおうじ応急クリニックは、深夜も診てくれる曜日もあるけれど、乳幼児だと受け入れてもらえるかどうか電話で確認しないとわからないんです。小児科専門ではないらしくて…

Q：相談相手は身近にいますか？

A：子育て支援センターの先生に相談したり、親に聞いてもらってます。

Q：ベビーカーでの移動などで、不便に思ったことはないですか？

A：私の住んでるところは、道はガタガタで車の交通量も多いし、歩道がちゃんと付いているところと付いていないところがあって、一応白線はあって一人だったら通るけど、ベビーカーだと車に接触したら怖いので、今は遠回りしています。



お母さん
子ども（1歳）



おじいちゃん
孫（1歳）

Q：子育て支援センターを利用するのは初めてですか？

A：2回目です。娘が用事を済ませる間に孫の世話をしているんです。娘が来たら交代です。娘は気に入って結構ここに来るらしいです。

Q：ご自身の時の子育てと娘さんの子育てを比べてどうですか？

A：若いころから20年、漁師をやってきたので、正月くらいしか家に帰ってくるのがなかったので、ほとんど子育てには関わってないんです。孫には月に2回ほど会うだけですが、割になついてくれるので嬉しいです。

Q：娘さんは子育てで、困っていませんか？

A：父親の仕事の帰りが遅くて、ずっと二人きりなので、食事のときに困っているようです。最初は食べていても飽きてくると嫌がって、娘もイライラして怒ってしまうときがあるみたいです。妻に相談しているようですが、いつになったら直るのかと見守っています。

Q：お孫さんと出かけるとき、施設などで不便に思ったことはないですか？

A：普段は田んぼ道を散歩して蝶を追いかけてたりして…海辺で車の通りは頻繁にはないのでいいところなんです。近くに自由に遊ばせられる公園があればいいのだけれど。

松阪市子育て支援センター一覧

ふれんず

西之庄町 150 番地
(第三小学校内ふれあい会館2階)
☎26-3787
月曜日～金曜日
9:00～12:00、13:00～16:00
(12:00～13:00 ランチタイム)

森のくまさん

阪内町 197 番地
☎36-0253
月曜日～金曜日
9:00～12:00、13:00～16:00
(12:00～13:00 ランチタイム)

げんきっこ

小津町 577 番地 3
(三雲南幼児園内)
☎56-7974
水曜日～日曜日、祝日
9:00～12:00、13:00～16:00
(12:00～13:00 ランチタイム)

かんがるー

飯南町横野 885 番地
(飯南ふれあいセンター内)
☎32-8111
月曜日～金曜日
9:00～12:00、13:00～16:00
(12:00～13:00 ランチタイム)
第4土曜日 9:30～12:00

子育て支援ルームやまっこ

飯高町宮前 112 番地
(やまなみ保育園内)
☎46-0056
月曜日～金曜日
9:00～12:00、13:00～16:00
(12:00～13:00 ランチタイム)

じゃれっこひろば

川井町 338 番地 2
(みどり保育園敷地内)
☎23-5697
月曜日～金曜日
9:30～12:00、13:00～15:30
(12:00～13:00 ランチタイム)

いきいきわくわく 子育てひろば

久保町 1245 番地
(久保保育園内)
☎29-1496
月曜日～金曜日
9:30～12:00、12:30～15:00

さくらキッズ

大足町 701 番地 1
(さくら保育園内)
☎23-6900
月曜日～金曜日
10:00～15:00
(12:00～13:00 ランチタイム)

なかよし広場

光町 31-4
(山室山保育園内)
☎23-7534
月曜日～金曜日
9:30～11:30、12:30～15:30

こどもセンターわかすぎ第二

立野町 518 番地
(わかすぎ第二保育園内)
☎26-5188
月曜日～金曜日
9:00～14:00

こどもセンターわかすぎ

嬉野中川町 1881 番地
(旧わかすぎ保育園敷地内)
☎42-8020
月曜日～金曜日
9:00～14:00

わくわくの森

嬉野上野町 1304 番地 9
(嬉野保育園内)
☎48-0300
月曜日～金曜日
9:00～11:30、13:00～15:30

※詳細は各施設にご確認ください。

竹上真人市長にお聞きしました

「子育て一番宣言のまち 松阪市」の実現を公約に掲げ、松阪市長に平成27年10月に就任された竹上真人市長にお話をお伺いしました。

【スタッフ】市長選では松阪子育て一番宣言ということで、子育て支援をメインにされていましたが、どのようなお考えからでしょうか？

【市長】私の母親は専業主婦でした。昔は、お父さんは仕事で夜遅い、家庭のことはお母さんだったのが、だんだん世の中が変わるとともに生き方も変わっていった、お父さんもお母さんも仕事を続ける方が増えてきて、これからは多様な生き方が選べる社会を作っていかなければならない。それには、家庭が大事で、ここのところをきちんとやっていかないといい町にはなっていく。今一番光をあてていかないか、それは子育てだというのが私の想いなんです。ですから、「松阪子育て一番宣言」を公約として掲げました。

【スタッフ】そうですね、家庭は大事ですよ。家庭内での市長はどうですか？

【市長】私自身も家族とのことは大事にしています。この1年間で休みは3日間でした。この3日間で2泊3日の家族旅行に出かけました。良かったですよ。子どもが小さいうちは忙しく、毎晩家に帰るのも遅くてなかなか子どもと一緒に食事までできませんでしたから。

【スタッフ】松阪を発展させるには、子どもたちを育てていくことが一番、市長がお考えの子育て一番というのをどんどん前面に出していただいて頑張っていただきたいと思っています。

【市長】ありがとうございます。「イクボス宣言」というのをこの7月にやったんですけども、特にイクメンですね、これをある程度作っていきたくと思います。育児休暇が3年取得できる公務員は恵まれているのは確かなんですよ。

一般企業ではなかなか難しいことも、役所が先駆けとなって率先して世の中に広めていくということが使命だと思っています。また、新しい取り組みも考えています。「ネウボラ」といって、妊娠、出産から子育てまで切れ目なく家庭を支援するフィンランドの育児支援サービスなんですけど、「相談の場」という意味があります。新しい健康センターに「ネウボラ」の拠点を置いて、相談員として保健師を常駐し、子育てに関するいろいろな相談に応じる中で、子育ての楽しさを実感していただこうと思っています。

【スタッフ】情報紙「ひまわり」も20回目の発行となりました。毎回、ご覧いただいていると思いますが、ご感想をお願いします。

【市長】スタッフの声はたくさんの方に届いていると思います。最近、思うことがあって…保健師が「赤ちゃん訪問」をする際に全くお会いできない方や子ども手当を受給されていない方がみえるんです。いろいろな事情があると思うんですが、役所や政治は自分らとは無関係やっていう方々がみえるんです。そういう人たちに届くものを本当に考えやなあかなと。そういうわけで、今回「ひまわり」で子育てをテーマに取り上げてもらってうれしいですね。今後もよろしくお願いします。

【スタッフ】いろいろお話をお伺いして、市長の熱い思いが伝わってまいりました。本日は、お忙しい中ありがとうございました。





事業報告

男女共同参画情報紙「ひまわり」 制作スタッフ募集中!

あなたも情報紙ひまわりの制作に参加してみませんか?

男女共同参画週間の啓発

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

内閣府では、女性のより積極的な暮らし方、働き方を推進するために、男性中心の意識や労働慣行の変革を促し、多様な可能性を持つ社会を実現するためのキャッチフレーズを募集、平成28年度のキャッチフレーズは、『意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。』に決まりました。

松阪市では、この期間に合わせ、プラザ鈴口ビーにてパネル展示(6月23日～30日)、松阪駅・伊勢中川駅にて街頭啓発(6月23日)を実施しました。



男女共同参画さ・し・す・せセミナー

男女が互いに尊重し合い、心豊かにいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指し、セミナーを開催しました。

7月20日(水) 「恋愛とデートDV～思春期の子どもたちに起きていること～」

講師: 具(ぐ) ゆりさん【ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA フェミニストカウンセラー】

9月13日(火) 「老後を自分らしく生きるために」

講師: 谷口 照男さん【エッセイスト】

10月19日(水) トーク&ライブ「～知ろうとするより感じてほしい～」

親子音楽ユニットRAMO

10月25日(火) 「男女共同参画と防災・減災～男女共同参画の必要性和防災・減災そして多様性配慮～」

講師: 長谷川峰子さん【三重県男女共同参画センター「フレンデみえ」事業課長 ワークショップデザイナー】

11月 5日(土) 絵本読み遊びライブ「いつだって 子どもがいちばん」

講師: 三浦 伸也さん【NPO法人ほがらか絵本畑理事長 (株)ほがらかカンパニー代表取締役社長】

男女共同参画松阪フォーラム

家庭・職場・地域等あらゆる場面で、男女が良き未来を描くために松阪フォーラムを開催しました。



第21回
男女共同参画松阪フォーラムを農業屋コミュニティ文化センターにて開催し、250名の入場者がありました。

三重県内男女共同参画連携映画祭 2016

三重県内
男女共同参画
連携映画祭

2016



「ペンギン夫婦の作りかた」

食べるラー油誕生の裏に隠されたとってもあたたかい絆の物語で、楽しく生きるレシピ満載でした。